

# 非人道的な事情聴取はやめろ！

先日、ある機関区で事象を起こした青年部員が、5時～21時の長時間の事情聴取を受け、翌日の事情聴取の最中に気を失う事態が発生しました。

また、ある駅で事象を起こした青年部員が、勤務を外された昼から22時まで長時間の事情聴取を受ける事態が発生しました。幸いにも青年部員はすぐに意識を取り戻し大事には至りませんでした。しかし、会社の事情聴取に対する姿勢は、幡生機関区で長時間に及ぶ事情聴取の末、青年部員が自ら命を絶った事象（2016年6月）から何も変わっていない事が明らかとなりました。

# 会社の構造はどうなっているのか

青年部では幡生機関区で自ら命を絶った事象から、二度とこのような悲劇を起こさない為に事情聴取の在り方を改善するように会社に求めてきました。事象を起こしてしまった青年部員はもちろん反省しなければなりませんし、原因究明をしなければならないのも分かります。しかし、本人の精神状況や体調面を無視してまで事情聴取を行わなければならない理由は何なのでしょう？

職場は支社へ、支社は本社へ「早く原因究明しなければ」「早く対策を上へ挙げなければ」の「早く」の思いから、事象を起こした本人を無視した状況に陥っているのではないのでしょうか？各職場でこのような事態が発生していないか今一度チェックし、何かあればフォローし合える体制の構築と、会社姿勢を許さない闘いを展開していきましょう！

# 二度と悲劇を繰り返すな(怒) 会社の風土を青年部で変えていこう！